広報南国

編集発行
南国市役所
電話（代表451番）
印刷所
用北印刷KK

広報は……
……みんな
読むもの……
……つくるもの

第11回定例市議会終る

四億八千九百万円 工費

―市庁舎建築など33件を議決―

南国市の第十一回定例市議会は、三月十一日招集され二十七日閉会予定のところ一日延長され、その間七日間にわたって本会議が開かれ、二十八日に閉会された。

専決処分事項の報告など報告議案五件と、三十四年度才入出決算の認定三十六年度の才入才出四、五、六月暫定予算、一部条例の改正案、国民健康保険条例、市有林売却処分、市役所庁舎建築工事請負契約、財政再建計画の変更、三十五年度の追加更正予算、議員提出の市長辞職勧告決議案など議案二十八件、計三十三件の議案につき一部委員会附託によりいづれも原案通り承認ならびに可決された。

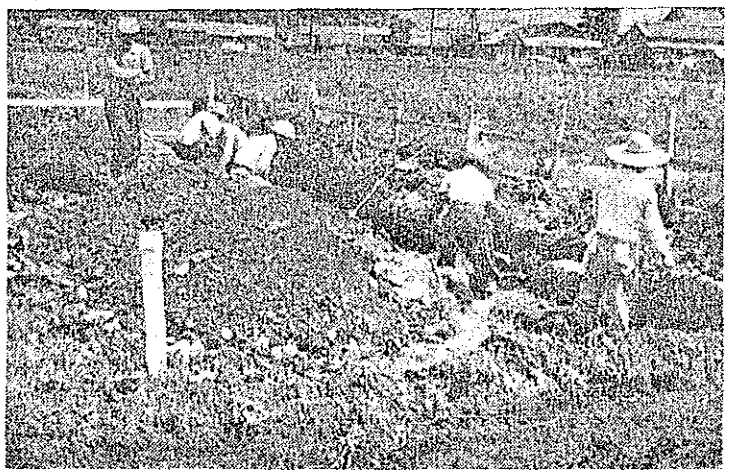
なお、三十五年度一般会計の最終追加更正予算は次のとおり。

また上水道特別会計は、十五万四千二百八十五円と六十八万二百五十円とそれぞれ減額され、総額千五百八万五千百五十五円と五百四十万七千六百五十円となった。

市長・職務代理をとく

地方自治法第五十二条の規定により、三月四日付で小笠原助役を市長職務代理者に任命し、約一ケ月を経た四月二日西村市長はその職に復し、市政にたづさわる旨の意志を表明した。

これがため、市長の代理職を解く旨の告示が同日付でなされた。これで市長空白の時期も短期日でおわり、平常にかえり庁内の空気も落着をとりもどした。



基礎工事始まる（庁舎）

5月16日で時効

請求しましたか

引揚者給付金

引揚者給付金の請求については、昨年、一ケ年延長されていた給付金の請求期限は、来る五月十六日までとなっている。

未請求の方は該当されると思われる方は次の点に注意をして下さい。

一、法施行以前（三十二年五月十七日）の引揚者は五月十六日までに請求しなければ時効により、受給権が消滅する。（ただし法施行後の引揚者は、援護受給権が発生してから四ケ年以内に請求すればよい。）

二、資料不足などで未請求になっているものは、とりあえず期限までに受付のみおわっておくとよい。（時効の中断は市町村の受付を基準にしている。）

三、引揚者給付金の申請で疑問のある方は、市民課厚生係におたづね下さい。

窪川君（後免）を選出

団長に

市連合青年団定期大会

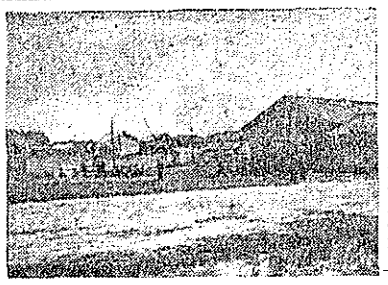
南国市連合青年団の定期大会は、去る三月二十六日に後免野田小学校講堂で行われ、「心ふれ合う仲間となろう」を三十六年度の重点目標とし、次の役員を選出した。

大阪市の大和ハウス工業KK（代表者石橋義一郎）と

（カッコ内は単位団）

団長	窪川成生（後免）
副団長	宮本寿氏（奈路）
〃	土居節代（大篠）
会計	刈谷英博（大篠）
監事	中司弘光（白木谷）
〃	関田幸典（大篠）
〃	島内　征（日章）

市庁舎は現在地に



市発足以来の懸案である市庁舎は、県より借用している現庁舎の周辺に建築することとし、土地の交渉をすすめ一時難航していたが円満に解決をみ、現庁舎の裏側の水田約一千平方㍍を購入するはこびとなりこのほど所有者と売買契約を結び、諸手続を終えた。これに要する敷地購入費は二百五十万円（坪単価八千円）で、三十六年度予算に計上されるはず。（写真は新庁舎建築予定地）

六月末を完工に

工費九百万円で 市庁舎起工

……鋼管構造二階建……

南国市の市庁舎の請負契約が、定例市議会で承認され、三月二十八日午後一時、建築予定地で地鎮祭と起工式が行われた。

市長職務代理者小笠原助役と、請負者の大和ハウス工業の安藤技術部長の手により鍬入れが行われ、これでいよいよ待望の市庁舎の建組合解散から転校問題ともめにもめている土佐山田町と、市との組合立岩小学校に通学する南国市側の児童の取扱いについて、市教委では最寄りの日章小学校に転校するか、そのまま岩小学校に在校か、いづれかを自由に選らべる方針を決め父兄にそのことを通知してあったもので、日章小学校では四月七日の始業式に引き続き、転入学式が行なわれた。

岩小学校から今度転入学する児童数は九十四名で、今年入学する新入生十三名を加えると、岩地区から百七名日章小学校に入学することになった。

多量の転入学児童を迎えた同校は、現在校舎の改築中であるため日章公民館で転入学式を行った。

式場は、万国旗で飾られ校歌斉唱、校長あいさつ転入学生確認、在校生と転入学生の代表からそれぞれあいさつがあり、日章小のPTAからお祝いのモチが全児童に贈られ式を終えた。

式後在校生の父兄と、転入学の父兄たちの茶話会が開かれ、門満なスタートをきった。

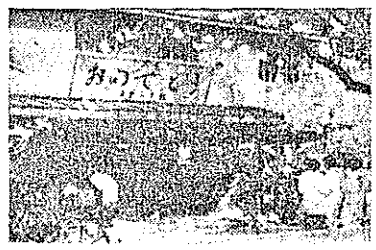
これにより同小学校は四百五十五人の児童を数え、これまでの十クラスから十二クラスとふくれ上がり、教員二名の増員が必要となった。

同校では始業式を始め、入学式における四つの行事を一日に行ったわけ。

一方岩小学校では、転校生を欠席扱いとする措置をとっている。

ふくれ上がった日章小

岩小からの転校約百名



転入学生をむかえる日章小

市役所職員異動発令

市では、産業経済課に農業振興係を新設し、日章出張所を廃止したためこれにともなう職員の配置換えを行い、四月一日付で発令した。

市長部局外の一部事務局の事務室に当てられる予定。

一期工事完成後ひきつづき二期工事に入る模様で、来年中にはスマートな庁舎が市民におめみえするはず。

総務課財政係長、唐岩白龍（出納室長）。産業経済課農政係長、北村泰博（税務課第一係主任）。同課農業振興係長、坂本延男（同農林係長）。出納室長、二宮博男（総務課財政係長）。福祉事務所庶務係、岡田亀喜（日章出張所長）。総務課、永田栄一（市民課）。山本裕子（香南中学校）。田岡高行（建設課）税務課、沢木英世（総務課）。市民課、植野求（領石支所）。中崎操（福祉事務所）。産業経済課、竹村通利（領石支所）。領石支所、岡林泰弘（総務課）。徳橋富田久（福祉事務所）福祉事務所、尾木亮温（出納室）。池知龍二（市民課）教育委員会（田向）香南中学校、元吉恵美子（市民課）。

山本氏ら優秀農家で

NHKから選賞

NHKでは、毎年全国の優秀農家の表彰を行っている。

三十五年度は、高知県下で三十名余りの篤農家の推薦があり、そのうち南国市関係では、次の三氏が選ばれ優秀農家として表彰された。

☆水稲と酪農　山本道夫（田村）

☆林業と酪農　岡崎義明（白木谷）

☆水稲と酪農及び養鶏　奥田　寛（田村）

三氏の所見の放送及び座談会の放送が、朝の農家の時間にそれぞれ放送された。

なお、三氏は何れも市の農業研究会の幹部である。

牛乳は、今日五大食糧の第一にあげられ最近の農林統計によれば、全国一、七一四、九〇〇トン

高知　五、九一二トン

の生産量となっている。

植林をする

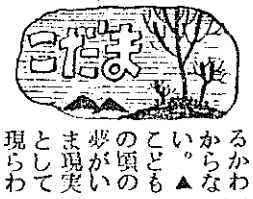
植田公民館

久礼田地区の植田公民館（館長門田保）では、全国国土緑化運動によせて、去る三月十九日部落共有の山に公民館の運営委員を中心に部落民九十名の手により、檜三千本を植えた。

なおこの植樹運動は、今後三年間つづけられて一万本の檜を植付けられる。

植付け後の管理は、青年の手によることになっている。

この植林の目的は、公民館の建設資金など、将来の部落における公共施設の建設に、使われることになっている。



35年度才入才出追加更正予算

歳入

款	前回迄の累計額	追加更正予算額	計
1市税	99,334,267	848,660	100,182,927
2地方交付税	73,328,000	14,149,000	87,477,000
3公営企業及財産収入	9,231,000	7,701,050	16,932,050
4分担金負担金	8,704,336	2,053,164	10,757,500
5使用料及手数料	2,731,050	△ 38,980	2,692,070
6国庫支出金	82,037,176	2,516,845	84,554,021
7県支出金	13,572,314	4,350,812	17,923,126
8寄附金	5,329,835	4,264,484	9,594,319
9市債	28,000,000	△ 1,500,000	26,500,000
10雑収入	137,397,522	△ 4,397,535	132,999,987
歳入合計	459,665,500	29,947,500	489,613,000

歳出

款	前回迄の累計額	追加更正予算額	計
1議会費	8,824,983	△ 111,280	8,713,703
2市役所費	62,448,493	12,511,634	74,960,127
3消防費	5,621,540	143,155	5,764,695
4土木費	27,828,974	10,263,718	38,092,692
5教育費	77,151,307	1,780,131	78,931,430
6社会及労働施設費	97,173,030	1,122,860	98,295,890
7保健衛生費	6,551,083	△ 166,313	6,384,770
8産業経済費	15,556,079	4,079,164	19,635,243
9財産費	3,141,980	125,190	3,267,170
10統計調査費	949,160	△ 14,681	934,479
11選挙費	1,971,516	139,813	2,111,329
12公債費	17,446,029	310,500	17,756,529
13諸支出金	132,996,682	△ 182,477	132,814,205
14予備費	2,001,644	△ 53,914	1,947,730
歳出合計	459,665,500	29,947,500	489,613,000

本号の主な記事

（1面）
△ 第11回定例市議会終る
△ 工費900万円で市庁舎建築
△ ふくれ上った日章小
△ 市長代理職を解く
（2面）
△ 市民の声
△ 木材もメートル法に
△ 豆科学
△ 知っていますか？国民年金
（3面）
△ 4万5,000のみなさまへ
△ 生活と電気
△ 市内あちこち
（4面）
△ NHK新番組のお知らせ
△ 国民年金の保険料納入方法

ソ連はとうとう人類最初の人間ロケットを打ち上げた。米ソのはげしい宇宙征服業は、その一方が勝ち、一方が負けた。しかも宇宙だけでなく地上でもその斗いは続けられている。それが国と国、人と人との斗いとなるとなかなかうるさい。▲宇宙へ宇宙へと目をむけているとき地上では骨肉あいけづる斗いが、世界の至る処でつづけられている。人間は感情の動物であり、一人一人の考えは違ってはいても、平和ということはみんなが願っている最大の要素だろう。▲宇宙の征服が、世界平和への近道という見方もあるというけれど、それそのものの活用如何にかかっているのでなかろうか……。ともあれ科学の進歩はものすごい、人類の幸福を呼ぶか、破滅に追われている事実をみても、こんごどのように進められるか想像もつかない。しかし斗争のための科学でなく、科学が平和に最大限に利用されてこそ人類の幸福が得られよう、要は平和のための科学になってほしいものだ。映画「落にて」のような虚無感はまっぴらごめんだ。▲庁舎の建築がいよいよ決まり工事に着手した。県下で始めてといわれる新建築工法である。科学というものはこのような方面にも改革が行なわれている。庁舎の完成により見学にくる者が相当あることだろう。そのときこそ外観のよさのみでなく内容の充実した市役所になってもらいたい。同時に市民の入りやすい気易い市役所をモットーにしてもらいたいものだ。